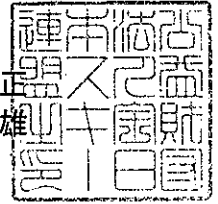


各加盟団体  
アルペン競技担当者 様

公益財団法人全日本スキー連盟  
競技本部長 古川 年正  
アルペン部長 片桐 幹雄



2014/2015 シーズン  
アルペン競技に関する各種ルール等について (通知)

平素より、本連盟の事業においてご協力頂き大変ありがとうございます。  
さて、シーズンが終了し来シーズンに向けた準備や取り組み等進んでいることかと思  
います。

本連盟アルペン部では、春季技術・運営委員会を開催し、昨年度の取り組みの振り返り  
を行いながら十分な話し合いを行いました。昨シーズンは、選手によって、規格の異なる  
用具で同じ競技会に出場する等の事例があり、たいへんな混乱をきたしました。

そこで、2014/2015 シーズンから、競技スキー用具については、共通規格の用具で競技  
を行えるようにすることが望ましいとの決議により、国内運用ルールを設定いたしました。

選手の次期シーズンの用具購入に支障をきたさないように取り急ぎ、関係各所への連絡  
をいたします。

また、その他事項についても国内運用ルールを設定いたしましたので、各都道府県所属  
のチーム・選手・コーチへの速やかなご連絡をお願いいたします。

添付資料

- ・国内運用ルールについて
- ・2014/2015 シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて
- ・FIS 競技用品ルールの抜粋



## 国内運用ルールについて

### 1. 公認A・B級大会に出場する選手のラディウスについて

- ・ 別紙競技用品ルール表参照

<例>女子R30, 男子R35を使用して出場する。

※高校1年生早生まれの選手、中学3年生も女子R30, 男子R35を使用する。

※インターハイ、高校選抜、国体少年組も同じとする。

※チルドレンレースについては、対象外になります。

### 2. ヘルメットについて

- ・ FISレースについては、新しい規格のヘルメットを着用することになっていきます。FISレース以上の大会は、FISルールに基づくため新しい規格のヘルメット着用になりますが、「SAJA・B級大会について2014/15シーズンは推奨する。」ということになりました。

尚、2015-16シーズンは、ルール通り新しい規格のヘルメット着用になります。

※このヘルメットルールは、DH・SG・GS競技に適用されます。

※新しい規格のヘルメットとは、FIS新規格に対応しFIS表示(指定ステッカーなど)により明示されているもの。

### 3. U16、U14のマテリアルルール変更の対応について

- ・ 2014/2015シーズンのU14/U16のマテリアル変更に伴うSAJの対応については、「推奨する」とし、海外FISチルドレン参戦については、ルール通りとする。また、2015/2016シーズンからはU16はルール通りとし、U14は「推奨」とする。

### 4. チルドレン出場レース制限について

- ・ 各種目の出場レース数をK1は4レース、中学1・2年生は5レース、中学3年生はB級大会出場も含めて6レース、高校1年生早生まれは制限なしとする。  
※大会を追い過ぎないで練習に専念できる環境の確立や経費をあまりかけない強化活動推奨を考え決定した。  
※尚、チルドレンレースの細部変更については、追ってSAJHPへ掲載します。

### 5. A級公認セッター受検資格について

- ・ 昨年までは、「FIS全日本選手権大会、ジャパンシリーズ及びFISレースにおいて6位までの入賞が3回数以上の者」になっていましたが、1部規約改正に伴い「全日本選手権大会とジャパンシリーズにおいて10位までの入賞が3回以上の者」に変更になりました。